

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	金沢市
②人口（※1）	451,501人 平成25年3月31日時点 ()
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	高齢化率：22.8% () 75歳以上人口割合：11.0%
④取組の概要	地域における買い物支援等の生活課題の解決に資する民間事業者の起業について、その立ち上げ及び継続に向けた支援を実施。
⑤取組の特徴	商店街や福祉・地域団体など多様な主体が連携しながら、地域のつながりをもとに新たなビジネスとして事業を実施している点
⑥開始年度	平成23年度
⑦取組のこれまでの経緯	地域に根ざした事業の起業支援の一環として、平成23年度から「買い物利便性向上」を目的とした民間事業者等による創意と工夫にとんだ新たなビジネスモデルに対する支援を行い、事業定着を図ってきた。今年度は、「買い物利便性向上」のみならず、地域に顕在化する高齢者の生活支援等の諸課題の解決を図る事業も対象に加え、地域課題を解決する「コミュニティビジネス」として拡充して公募し、住民福祉の向上や地域活性化に結びつく事業の起業支援により、産業振興及び雇用の創出を図る。
⑧主な利用者と人数	利用者及び人数は、事業者のビジネスプランに基づく。
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	民間事業者や商店街、NPO、地域団体等
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	①スタートアップ事業（新たな事業の立ち上げ支援） 予算額：平成25年度 9,000千円 事業内容：事業者を公募し、新規事業の立ち上げに係る費用を300万円を上限に支援。（委託事業） ②フォローアップ事業（始めて間もない事業の自立支援） 予算額：平成25年度 6,000千円 事業内容：市内で既に事業を行って3年以内の民間事業者や商店街、NPO、地域団体等に対し、100万円を上限に補助（補助率1/2）。（補助事業）
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし
⑫取組の課題	・ サービス内容の周知 ・ 事業の収益性や継続性 ・ 地域団体等との協力関係の構築
⑬今後の取組予定	事業の公募 4月～6月 事業の実施 7月～翌年3月
⑭その他	

⑮担当部署及び連絡先	金沢市福祉局介護保険課 電話：０７６－２２０－２２６４

- ※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。



金沢のまちを住みよくする！元気にする！！

「コミュニティビジネス」の事業提案を**募集**しています。

地域課題を解決する起業を応援します！

1. 目的

本市では、地域に根ざした事業の起業支援の一環として、平成23年度から「買い物利便性向上」を目的とした民間事業者等による創意と工夫に富んだ新たなビジネスモデルに対する支援を行い、事業の定着を図ってきました。

今年度は、「買い物利便性向上」のみならず、地域に顕在化する高齢者の生活支援、子育て支援、地域振興などの諸課題の解決を図る事業も対象に加え、地域課題を解決する「コミュニティビジネス」として拡充して公募し、住民福祉の向上、地域活性化に結びつく事業の起業支援により、産業振興及び雇用の創出を図っていききたいと考えています。

2. 募集する事業

(1) 新たな事業の立ち上げを支援 ～スタートアップ事業～

- 対象事業 買い物利便性向上などの地域課題の解決をビジネスの手法で解決する事業
- 委託料 上限300万円<新規事業の立ち上げに必要な経費>
- 応募資格 民間事業者（中小企業者に限る）、商店街、NPO、地域団体等で市内で主に事業を実施する者
- 募集締切 **平成25年6月24日(月)**まで

(2) 始めて間もない事業の自立を支援 ～フォローアップ事業～

- 対象事業 買い物利便性向上などの地域課題をビジネスの手法で解決している事業
- 補助金 上限100万円（補助率1/2）<事業の継続に必要な運営費>
- 応募資格 市内で既に事業を行って3年以内の民間事業者、商店街、NPO、地域団体等で、自立を目指し改善に取り組む者
- 募集締切 **平成25年5月31日(金)**まで

応募要領・申請書は下記のHPからダウンロードできます。

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/17001/syougyou/communitybusiness/25nendo.html>

「起業支援相談窓口」をご利用ください！

(市役所5階 商業振興課内)

起業に必要な情報提供や相談に応じます。
お気軽にご相談ください。

応募・問い合わせ先

金沢市 経済局 商業振興課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL : 220-2193 / FAX260-7191

E-mail : syougyou@city.kanazawa.lg.jp

買い物弱者支援に取り組むコミュニティビジネスの事例

—平成 24 年度にスタートした事業—

歩いていける朝市「金沢いきいき朝市」

お寺の境内を活用して歩いていける朝市を開催しています。じわもの新鮮野菜・果物や福祉施設が作るお菓子の他、地元商店からも出品協力してもらい、やりとりしながら買い物する朝市はコミュニティを育む場となっています。【金沢いきいき朝市運営会社(平成 24 年 9 月開始)】



「コープ いーじ〜便」

店内で買い物した商品を自宅まで届ける配達サービスと、カタログから商品を選んで電話や FAX で注文する買い物代行サービスをスタートしました。お米などの重いものを持って帰れない方や小さなお子さんのご家庭に好評です。【コープたまぼこ(平成 25 年 1 月開始)】



買い物同行・代行サービス「どーだくん」

介護ヘルパーが自宅まで迎えに行き、買い物のお手伝いをする同行サービスと、有償ボランティアが買い物を代行するサービスを実施。一緒に買い物をしてほしい方や外出が困難な方を応援しています。【株式会社新世紀ケアサービス(平成 24 年 9 月開始)】



—平成 23 年度にスタートした事業—

「まかせまっし隊」

商店街と一体となった買い物代行・宅配事業



【ござれ市 (平成 23 年 9 月開始)】

「高齢者生活サポート事業」

高齢者の見守りをしながら生活全般をサポート



【NPO 法人オアシス (平成 23 年 9 月開始)】

「エール宅配クラブ 安心会員」

御用聞きによるネットスーパー事業



【株式会社マルエー藤江北店(平成 23 年 9 月開始)】

「まちの駅」を拠点としたお買い物支援

商店街・企業・NPOと連携した買い物支援事業



【株式会社ビーイングホールディングス(平成 23 年 12 月開始)】

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	金沢市
②人口（※1）	451,501人 平成25年3月31日時点 ()
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	高齢化率：22.8% () 75歳以上人口割合：11.0%
④取組の概要	65歳以上で、地域の高齢者が自ら介護予防活動に参加し、介護予防に向けた取組を主体的に実施できる「介護予防サポーター」を養成し、地域の介護予防教室の運営の補助等に活用する取組を実施。
⑤取組の特徴	個々の状態に応じて、介護予防の自主活動、ボランティア活動、自身の介護予防活動及び普及・啓発活動の活動形態を選択できる。
⑥開始年度	平成19年度
⑦取組のこれまでの経緯	養成開始当初は、サポーターの役割毎に3級、2級、1級課程と分けて、ステップアップ的に研修会を実施していたが、自主活動を希望する方が修了するまでに2年程度かかるため、平成24年度より各級を統合して実施。
⑧主な利用者と人数	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢市民 ・修了者数148名（平成24年度末現在） ・地域において自主活動をしているグループ11団体（平成24年度末現在） ・金沢市が実施している口腔機能向上事業に運営補助として参画
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サポーター養成研修は、保健衛生及び福祉の増進に寄与することを目的とする（公財）金沢総合健康センターへ委託。 ・修了者においてボランティア活動や自主活動を希望する方は、金沢市において支援。
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サポーター養成講座 予算額：平成25年度 180千円（委託費） 事業内容：年1回、7日間の研修により介護予防サポーターを養成（50名） ・地域活動育成事業 予算額：平成25年度 150千円（平成25年度限り） 事業内容：行政できっかけづくりをおこなった介護予防教室が、地域で継続的に行われるよう、その自主運営を支援。
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし
⑫取組の課題	<p>修了者は、自分の住んでいる身近な地域において、介護予防に関する普及・啓発活動やボランティア活動、自主活動の各々の活動形態に合わせて介護予防活動を推進することとしているが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な活動場所に適している公民館等は地域の教室や行事が入っており、自主活動グループの活動場所を見つけることが困難 ・普及・啓発、ボランティア、自主活動と活動形態が異なるため組織化が困難 ・自主活動の継続やボランティア活動のための支援体制等について課題がある。

⑬今後の取組予定	金沢市において19箇所の地域包括支援センターがあり、各地域包括支援センターに10名程度の介護予防サポーターを養成する。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	金沢市福祉局介護保険課 電話：076-220-2264

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

ネットワークのこと とびうめ

1まいめ りんくる

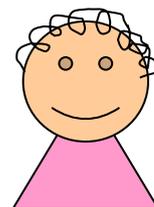
2まいめ 地域ケア会議実践例

例1: インフォーマル・フォーマル含めた多職種連携りんくるの会(金沢市)

地域の高齢者の生活を支えている人同士の連携を深めることで、
地域包括ケアシステム構築の実現に一步踏み出すことを目的とする

「りんくるの会」を立ち上げました。

地域では、すでに、さまざまなつながりの中で、
高齢者を支える仕組みやネットワークが存在します。
それらが繋がらうことで、さらに強靱なネットワークを作ることができます。
今年度は、その足がかりとして、地域で高齢者を支えている
民生委員・医療・介護・生活支援の関係者等同士の顔が見える関係から、
連携を深めることを目的とし、交流会、勉強会、事例検討会を行いました。



ちなみに・・・「りんくる」
wrinkleとは、英語で
「しわ」や「年輪」を表し
ます。そこに高齢者が
もっと社会や地域と、
また、多くの援助職同
士もつながることがで
きるよう「つながるlink」
という意味を込めまし
た。

かかりつけ医の立場から、
「こんなとき、どんな病院にかかればいいのか？」
というテーマでの講座
医療連携の本音トークが展開され
連携の工夫あれこれ

顔のみえる
関係づくり

ワールドカフェ方式のワークショップ
立場や役割を超えて、テーブルごとに
「この地域で暮らす」を支えるをキーワードに
オープンに話に花を咲かせました☆

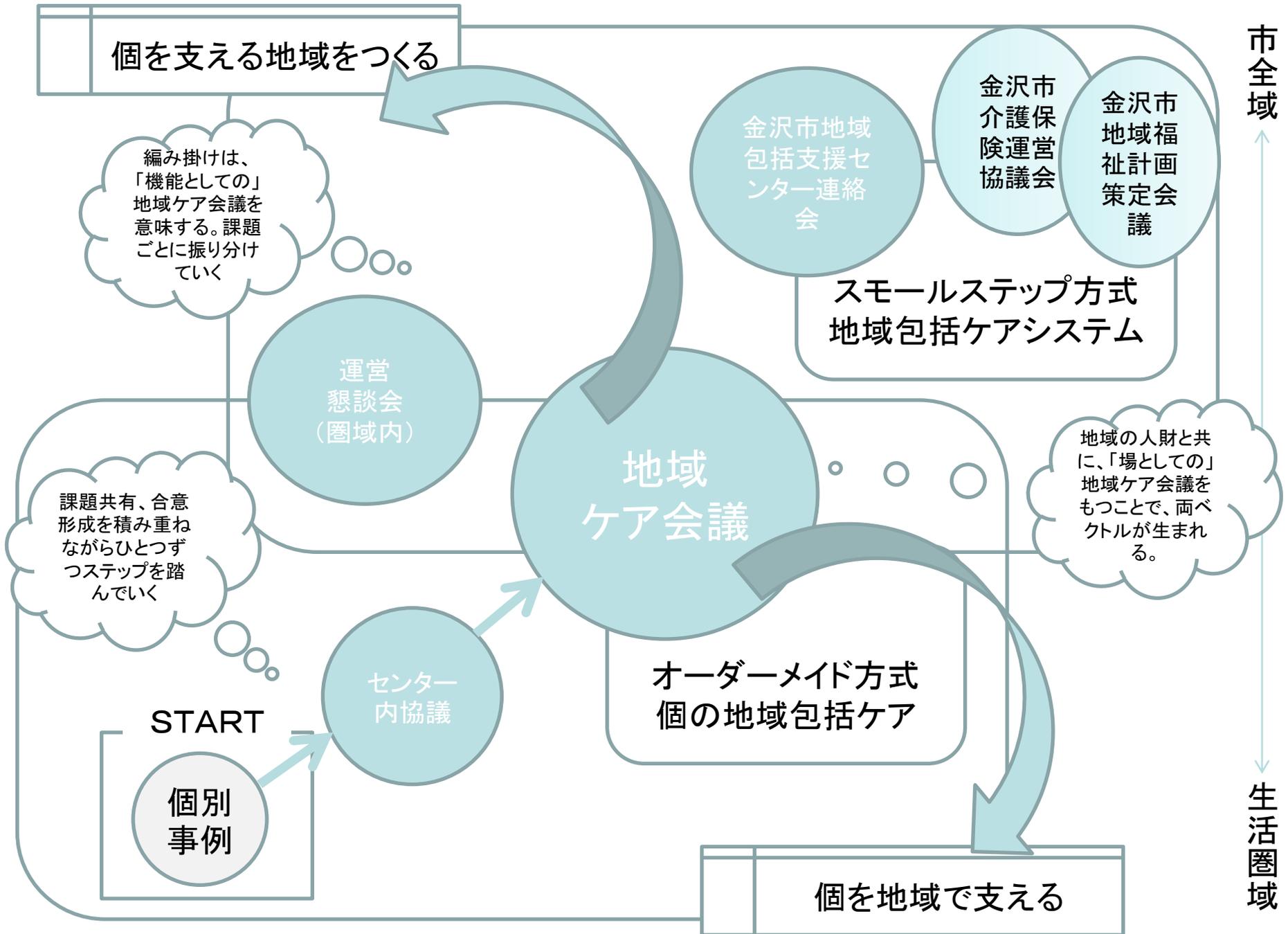
インフォーマル
フォーマル
立場を超えて

地域支援の
担い手による
生きた語り

既存の
ネットワーク
つながる

連携の
創意工夫
声から

参加者: 民生委員児童委員・地区社会福祉協議会・町会連合会・ケアマネジャー医師・歯科医師
医療機関ソーシャルワーカー(MSW・PSW)・地域包括支援センター
介護サービス事業所(デイサービス・ヘルパー・訪問看護・グループホーム・特別養護老人ホームなど)



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	金沢市
②人口（※1）	451,501人 平成25年3月31日時点 新竪・小立野地区（12,684人）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	高齢化率 22.8% 新竪・小立野地区（30.3%） 75歳以上人口割合 11.0% ※75歳以上の地区別統計はない
① 取組の概要	地域の高齢者の生活を支えている人同士の連携を深めることで、地域包括ケアシステム構築の実現に一步踏み出すことを目的とする「りんくるの会」を立ち上げました。地域では、すでに、さまざまなつながりの中で、高齢者を支える仕組みやネットワークが存在します。それらが繋がりあうことで、さらに強靱なネットワークを作ることができます。今年度は、その足がかりとして、地域で高齢者を支えている民生委員・医療・介護・生活支援の関係者等同士の顔が見える関係から、連携を深めることを目的とし、交流会、勉強会、事例検討会を行いました。
⑤取組の特徴	・新たなネットワークを創り出すのではなく、地域の既存の仕組みやネットワークがつながりあうことを目的とする。 ・医療・介護・生活支援・地域福祉の関係者など、専門職や地域の支え手がそれぞれの立場や役割を超えてつながることができる場となっている。
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	初年度は、地域で高齢者を支えている民生委員・医療・介護・生活支援の関係者等同士の顔が見える関係から、連携を深めることを目的とし、交流会、勉強会、事例検討会を行いました。 第1回 懇親会 第2回 かかりつけ医講座「こんなとき、どこの病院にかかればよいの？」 第3回 ワールドカフェ方式で3つのテーマについてワークショップ
⑧主な利用者と人数	毎回参加者は、約60名
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	民生委員児童委員・地区社会福祉協議会・町会連合会・ケアマネジャー・医師・歯科医師・医療機関ソーシャルワーカー（MSW・PSW）・介護サービス事業所（デイサービス・ヘルパー・訪問看護・グループホーム・特別養護老人ホームなど）
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	市のネットワーク事業という位置付けにて、委託型地域包括支援センター主催で行っている。
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	特になし
⑫取組の課題	フォーマル・インフォーマルを超えた多職種ネットワーク形成の場であるため、共通言語もなく、共通理解をみいだすためには、工夫が求められる。
⑬今後の取組予定	事例検討をしていきたい等との要望が寄せられているため、今後は、グループワーク形式でおこなえないか検討中。参加者のニーズ発信での取り組みを今後予定していく。

⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	金沢市長寿福祉課 076-220-2288 金沢市地域包括支援センターとびうめ 076-231-3377

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	金沢市
②人口（※1）	451,501人 平成25年3月31日時点 十一屋地区 (8,588人)
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	高齢化率 22.8% 十一屋地区 (27.8%) 75歳以上人口割合 11.0% ※75歳以上の地区別統計はない
④取組の概要	公営住宅の高齢化に伴う地域力の低下に対し、実態を把握しニーズ調査を行い、見守り活動の普及啓発チラシの配布等を含め、関係機関と見守りネットワークを構築する。
⑤取組の特徴	検討会(3回)で方針、課題分析を行い、ケア会議で情報共有、課題抽出を行う。アンケートは84世帯の高齢者世帯に行い、現状把握とニーズ調査を行う。情報シートを活用し、見守り対象者の情報のすりあわせを行う。
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	公営住宅は35棟(8,872名)あり、入居者のうち65歳以上の高齢者が4割(2,259名)を占めており、単身世帯の割合が高い。民生委員9名の配置と県営住宅管理センターが入退居の手続きや相談を受けている。シルバーハウジングは30戸あり、相談員は1名いる。高齢者の孤立化を防ぎ、高齢者もその他の世代も、安心して暮らしていけるように、地域力による見守りや支援を行っていく必要があると考えられ、今回の取組に至る。
⑧主な利用者と人数	対象エリア、人口も多いため65歳以上の単身世帯が多い4棟を対象とする。 平和町県営住宅在住の高齢者 84人 会議参加者は6回平均12名（包括を除く）
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	地域包括支援センター、民生委員、県営住宅管理センター、町会長 LSA（ライフサポートアドバイザー）相談員、市社協、地区社協
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	市のネットワーク事業という位置づけにて、委託事業の一環として行い、報告書を市へ提出している。
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	介護保険特別会計
⑫取組の課題	見守りや安否確認を希望する高齢者が多い。 引きこもり傾向の方がおり、地域サロンへの参加を促す。特に男性の参加を促していく必要がある。
⑬今後の取組予定	関係機関との情報提供や連携の調整。 希望者へのふれあい・見守り巡回の実施と状況把握。 他棟への見守りネットワークの拡大。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	金沢市長寿福祉課 076-220-228 金沢市地域包括支援センターみつくちしんまち 076-263-7163

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

① 計画内容を設定する

現状分析

①対象地域の現状、数値的データ等

- ・平和町公営住宅は1～68号棟（建物は35棟）あり、入居者のうち65歳以上の高齢者は4割を占めている。
- ・高齢者世帯のうち、単身世帯の割合が高い。
- ・公営住宅担当の民生委員は9名配置されている。
- ・入退居の手続きは若草県営住宅管理センターが行い、相談も受けている。
- ・地区社協では月2回サロンを開催している。

個別課題

①地域における個別課題

- ・関係機関の情報共有の場が少ない。
- ・入退去に関する情報が得られにくく、民生委員活動に支障がある。
- ・入居者が長期不在の際の情報が得られにくく、管理人等に伝えるといった取り組みも浸透していない。
- ・町会と福祉推進活動グループとの協力関係の構築。

ねらい

①ネットワーク構築の取り組み（事業）のコンセプト

- ・公営住宅の高齢化の現状を把握すること。
- ・関係機関がそれぞれの関わりの中で高齢者の様子を見守り、皆の力を合わせて地域力を高めること。
- ・地域住人一人一人の見守り力を高め、地域とのつながりを生むこと。
- ・高齢者が主体となって、互いに声を掛け合い見守る等、個々の意識を高めること。
- ・対象エリア、人口も多いため、公営住宅の中心に位置し、65歳以上の単身者が多い、40・45・57・58号棟を対象をしぼる。

効果

①期待する効果

- ・高齢者または、地域住人などの個人が、地域のためにできることは何かを考え、実践できるようになる。
- ・一人一人の力を集めて地域力を高めること。
- ・関係機関がそれぞれ持っている情報を交換し、共有することで活動の円滑化を図り、負担軽減につなげる。
- ・新たなネットワークを築く。

② 取り組み結果を振り返る

取り組み(事業)内容[実際]

②実施した内容

- ・情報シートを活用し、民生委員、管理センター、地域包括が把握している見守り対象者の情報のすり合わせを行う。
- ・見守り活動のチラシの貼付を地域にも協力を求める。（新聞配達所、銀行、郵便局、スーパー等）
- I.町会および地域住人の見守り活動の普及…十一屋地区全域へチラシ作製し、回覧板にて配布。
- II.県営住宅管理センターの実態把握…見守り対象世帯へ、生活実態把握のためのアンケート実施。
- III.民生委員の見守り活動…緊急連絡先票の普及率向上。
- IV.地区社会福祉協議会の活動…教室、サロンの内容検討。

ネットワークの内容[実際]

メンバー

②実際に関わったメンバー

- ・十一屋地区民生委員児童委員協議会
- ・地区民生委員
- ・十一屋地区社会福祉協議会
- ・十一屋校下町会連合会
- ・金沢市社会福祉協議会
- ・若草県営住宅管理センター

スケジュール・手順

②実際のスケジュール・手順

- ・第1回…①地区課題の抽出 ②目標の共有 ③今後の進め方の検討
- ・第2回…①見えるネットワーク仕組み作り ②町会への理解と協力要請
- ・第3回…①情報シートの活用 ②情報共有後の課題整理 ③見守り活動周知方法の検討
- ・第4回…①各機関の取り組み内容の検討
- ・第5回…①各機関の取り組み内容の報告
- ・第6回…①ネットワーク会議の振り返り・成果物の確認 ②今後の取り組みについて

成果と課題

②実施後の成果と課題

- I.H24年12～1月初旬にかけて、十一屋地区全域へ回覧板（約400枚）によって回覧された。
- II.99%の回収率。さらに年をとったり、心身の都合が悪くなった時には、「見守り」や「安否確認」を受けたい方が多い。
- III.各棟とも7～9割以上まで普及率が向上した。
- IV.看護師による血圧測定や登録名簿の作成等検討している。引きこもり傾向の方や男性の方の参加を促していく。

今後の展望・目標

②今後の事業展開

- ・関係機関との情報すりあわせの場の調整。
- ・若草県営住宅管理センターによる、40・45・57・58号棟の希望者へのふれあい・見守り巡回の実施。
- ・他の棟への見守りネットワークの拡大。

平和町県住 40棟 氏名一覧(30名)

民生委員:〇〇〇〇 管理人:〇〇〇〇 町会長:

全45室/25室が見守り対象(56%)

番号	氏名	フリガナ	年齢	居室	市福祉サービス	介護保険	ケアマネージャー	生活保護	入居日	見守り	備考
1			83	105号							
2			79	106号							LSA
3			82	107号							LSA
4			76	108号	配食	要介護	陽風園				LSA
5			80	109号							相談履歴あり、LSA
6			73	109号							二次予防、LSA
7			71	201号							
8			86	203号							
9			95	204号		要介護?				民生委員	相談履歴あり、ヘルパーの出入りあり
10			69	204号							
11			83	205号							
12			78	207号							LSA
13			79	208号							LSA
14			83	210号		要支援1	ケアフォーム大桑				病気がち
15			80	210号		要介護1	ケアフォーム大桑				
16			80	302号							
17			74	302号							
18			90	303号	緊急通報						
19			71	304号							
20			75	306号							
21			87	307号							二次予防
22			72	308号	配食(H19)						
23			77	309号							
24			74	309号							
25			79	402号							管理人
26			76	406号							
27			69	407号							
28			70	506号							
29			75	507号		要介護1	健生クリニック				
30			76	508号							二次予防

平和町県住 45棟 氏名一覧(30名)

みつくちしんまち 県営住宅情報シートサンプル.xls
 民生委員:北島 諒子 管理人:中西

町会長:

全58室/30室が見守り対象(52%)

番号	氏名	フリガナ	年齢	居室	市福祉サービス	介護保険	ケアマネージャー	生活保護	入居日	見守り	備考
1			71	104号							仕事あり
2			71	105号		認定あり?	ヘルパー利用				身体障害者
3			70	106号							仕事あり
4			75	107号				○			二次予防
5			79	109号	緊急通報、配食	認定あり	朱鷺の苑?	○			
6			76	110号	緊急通報	要支援2	なし	○			
7			94	111号		要支援1	寄木	○			
8			72	204号							仕事あり
9			68	206号							二次予防
10			76	207号							
11			74	209号							仕事あり
12			69	210号							仕事あり
13			80	211号							
14			80	212号							二次予防TEL
15			68	303号							相談履歴あり、仕事あり
16			68	304号							
17			71	305号							目が不自由
18			79	307号							二次予防
19			67	310号							
20			78	311号		要支援2	大谷				
21			74	312号							
22			75	405号							仕事あり
23			79	406号		要支援1	プラト-川畑				
24			79	409号							相談履歴あり
25			68	411号							二次予防
26			81	412号		要支援1	包括更新対応				推進員
27			70	505号				○			
28			67	506号							仕事あり
29			80	507号							仕事あり
30			82	511号							二次予防

金沢初 24時間巡回介護

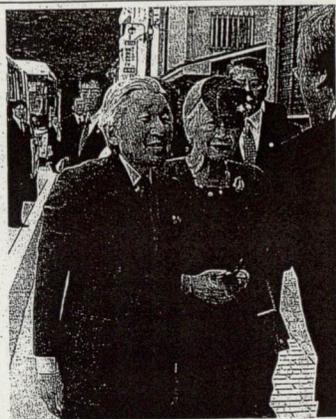
来月1日指定 在宅高齢者を支援

市議会市民福祉委
要介護高齢者の在宅での生活を支援するため昨年4月に始まった「24時間地域巡回サロニス」の事業所が6月1日、金沢市で初めて指定される。石川県内では加賀市に続き2カ所目。27日の金沢市

市議会市民福祉常任委員会で市側が報告した。対象事業所は金沢市鞍月5丁目の「ふぉーりー」定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所。地域訪問看護事業所と連携してサロニスを提供する。24時間サービスは、夜間対応する職員が確保や採算への懸念から

介護事業者の参入が進まず、全国では3月末現在で120自治体232カ所の指定にとどまっている。県内では国のモデル事業だった加賀市のほか、6月からは津幡町でも指定される見通し。

大山自然歴史館を訪れた天皇、皇后両陛下



両陛下、大山自然歴史館に
鳥取県を訪問中の天皇、皇后両陛下は27日午前、大山町の県立大山自然歴史館を訪れ、県を代表する名峰大山の自然保護活動などを紹介する展示を見て回られた。同日午後、特別機で帰京する。

大山は登山者の増加に伴い一時、山頂の植物がなくなりましたが、ボランティアによる植樹活動で緑を取り戻した歴史の説明を受ける。天皇陛下は「みんなが協力したんです」と話した。視察後、同館の前で、間近に見える大山の山頂付近を仰ぎ見た。

ら介護事業者の参入が進まず、全国では3月末現在で120自治体232カ所の指定にとどまっている。県内では国のモデル事業だった加賀市のほか、6月からは津幡町でも指定される見通し。

小松市と独都市夏にも交流開始
小松市は今夏にもドイツ・カイザースラウテルン市と自然や文化、産業面での交流を始める。小松市の石川県(まの芸術劇場)から27日、同市日用町のコケ群生地の活用策を協議する「観智の杜プロジェクト意見交換会」が開かれ、和田慎司市長が方針を示した。

まちづくり国交相表彰
国土交通省は27日、事業と金沢レンタサイクル「まちのり」、まじつくり功労者国交クル「まちのり」、大臣表彰に金沢駅武蔵ちづくり法人国交大北地区市街地再開発表彰の特別賞に

世界農業遺産公議前に 能登豆

27日午前9時半ごろ、羽咋市柳田町の水田にトキ1羽が飛来した。この水田は、かつて生息地だった眉山の麓にあり、無農薬無肥料の自然栽培のほ場。29日に七尾市で開幕する世界農業遺産国際会議の前に、NPO法人日中朱鷺保護協会名誉会長の村本義雄さん(88)「羽咋市上山山町」やJA関係者は「能登の里山を祝福しに来てくれた」と喜んだ。

地元の農業前田和敏さん(65)が見つけた。村本さんによると、黒部市にすみ着いている雌「トキメキ」とみられる。繁殖期で体は黒っぽく、水田で餌をついばんだ後、近くを通るJR七尾線脇の電柱で羽を休め、正午前に飛び去った。



来飛トキに咋羽

電柱に止まるトキ

勝利至上主義を否定

記したガイドライン(指針)をまとめ、下村博文文科相に提出した。体罰やパワハラなど許されない指導の具体例も盛り込んだ。

文科相に提出

部活動指針の骨子

- 勝利至上主義を否定
- 部活動は学校教育の一環。体罰は認められない
- 熱中症の危険がある長時間のランニングをさせない
- パワハラと判断される脅しや嫌がらせをさせない
- 特定の子どもに過度な肉体的・精神的負担を与えない
- 柔道や剣道の初級者を受け入れ、復讐行為を禁止する
- 危険な別な腕を引く行為を認めない

許されない行為

認められる行為

具体例を明記

一方、「柔道の初心者に受け身を反復させる」「バレーボールで、技能向上のため反復してレシーブさせる」といった指導や、練習中に危険な行為をした子どもを別の場所へ指導するため腕を引くことは認められるとした。

顧問は子どもの主体性を尊重し、一方的な指導方針を押し付けてはならないと指摘。部活動の運営を顧問に任せきりにせず校長が必要な指示をすることや、外部指導者に対しても顧問が適切な指示をすることが求められた。

Evening news

春ダイコン 出売上々

小松で出荷本格
小松産の春ダイコンの出荷が27日、小松市内で本格的に始まり、生産者が収めたばかりのみずみずしいダイコンの詰め作業などを進めた。

JA小松市によると、同市は石川県内3割の生産量を占め、春ダイコンの産地で農家5軒が約115で栽培している。今は春先に低温の日が続いたが、その後の

志賀原発事故 30キロ圏の

石川県議会防災対策特別委員会は27日、

省、部活指導で指針

大阪市立桜宮高バスケ部、男子生徒が自殺した問題を受け体罰防止を徹底するのが目的で、近く教育委員会を通じ全国の学校に配布する。下村氏は「指針を活用してもらい、体罰を根絶するよう努力したい。部活動の充実に向けた取り組みを進めたい」と話した。

パワハラ

体罰 教員が児童生徒に殴る蹴るの暴行を加えたり、長時間の正座をさせたりして肉体的苦痛を与える行為。学校教育法で禁止されている。

115 5月27日 夕刊

事業開始 (指定) 115.4.1

きょうの催し

●金沢中日文化センター
076 (233) 4650

歌うシャンソン教室、基礎から学ぶ：英会話トレーニング、ピラティスエクササイズ、レッツエンジョイフラ！

【一日体験講座受け付け中】
◇「心と体によさしいヨガ」
6月24日(月) 前10:30～正午、受講料1050円(税込)

◇「オリジナル手織り教室」
6月28日(金) 前10:正午、受講料1050円(教材費別途、税込)

【新会員募集中】
◇書を楽しむ(月3回(水)後6:30～8:30)

定期巡回型の介護事業所

1日、市内初指定

市民福祉委

要介護高齢者の在宅生活を支援するため、「地域密着型の定期巡回型」の事業所が、金沢市内で六月一日に初めて指定される。同日から事業開始する予定で、県内では加賀市に

次ぎ、津幡町と並んで二カ所目。二十七日の市民福祉委員会で報告した。

対象事業所は「ふおりーふ定期巡回型対応型訪問介護看護事業所」(鞍月五)。サービス付き高齢者住宅などを対象に事業展開する。

サービス事業は要介護者の住み慣れた地域での在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じて、一日複数回の定期訪問と緊急時などの随時対応を一体的に、または事業者の連携により展開。食事や排せつ、入浴など日常生活上の世話や療養上の世話や診療補助などを行う。

紙面構成・織田龍穂

全国では今年三月末までに百二十自治体計二百三十二カ所が指定された。市介護保険課は事業所と連携し、サービス利用の動向を注視していくほか、ケアマネジャーやソーシャルワーカーなどにも事業内容を周知し、在宅サービスの充実に努める。(田嶋豊)

健康食品トラブル急増

送り付け被害、前年度比2.5倍

生活センター(青草)相談状況をまとめ健康食品が代引きでへの相談が89件あり、前年度比2.47倍と急増。うち70歳以上からの相談が61件で、4.06倍となった。市民福祉委員会で市が報告した。(田嶋豊)

費生活センター相談まとめ

の位	309
件数	131
(有料控)など	89
敷金	87
法、品	66
の	57
など	57
期株	53
りつ	49
勧誘	49
ビス電	42

人権女性政策推進課 被害防止に向け、市十歳代は有料サイト利用すると、健康食品を地域包括支援センターや社会福祉協議会との相談が多いという。全相談件数は前年度比九十二件増の千八百九十二件。年々減少傾向にあったが、増加に転じた。

問い合わせは、近江町消費生活センター(電話076(232)0070)へ。



永年勤続表彰を受けた議員ら(金沢市議会)

不動産 入札案内

●入札書は、当裁判所の執行官室で交付していただきます。

●各欄記載の金額は、売却基準価額です。

最低入札価額(買受可能価額)は、売却基準価額の8割の価額になります。

●物件に関する電話照会には一切応じていませんので、ご了承ください。

★庁舎工事のため、裁判所駐車場は利用できません。入札には、原本、

則、農業委員会又は県知事の買受適格証明書が必要で。

●物件の資料(通称3点セット)は、当裁判所及びインターネットで閲覧できます。

不動産競売物件情報サイト(通称ヒット) <http://hit.sikkou.jp>

▽土地付居宅(買受可能価額は、売却基準価額の8割の価額になります。物件に関する電話照会には一切応じていませんので、ご了承ください。)

★庁舎工事のため、裁判所駐車場は利用できません。入札には、原本、

則、農業委員会又は県知事の買受適格証明書が必要で。

●物件の資料(通称3点セット)は、当裁判所及びインターネットで閲覧できます。

不動産競売物件情報サイト(通称ヒット) <http://hit.sikkou.jp>

▽土地付居宅(買受可能価額は、売却基準価額の8割の価額になります。物件に関する電話照会には一切応じていませんので、ご了承ください。)

★庁舎工事のため、裁判所駐車場は利用できません。入札には、原本、

則、農業委員会又は県知事の買受適格証明書が必要で。

●物件の資料(通称3点セット)は、当裁判所及びインターネットで閲覧できます。

不動産競売物件情報サイト(通称ヒット) <http://hit.sikkou.jp>

金沢地方裁判所

▽入札期間 平成25年6月12日から同年6月19日午後5時まで(農地は平成25年9月11日から同年9月18日午後5時まで)

▽開札期日 平成25年6月26日午前10時(農地は平成25年9月25日午前10時)

▽売却決定期日 平成25年7月3日午前10時(農地は平成25年10月9日午前10時)

▽土地付居宅(買受可能価額は、売却基準価額の8割の価額になります。物件に関する電話照会には一切応じていませんので、ご了承ください。)

★庁舎工事のため、裁判所駐車場は利用できません。入札には、原本、

則、農業委員会又は県知事の買受適格証明書が必要で。

●物件の資料(通称3点セット)は、当裁判所及びインターネットで閲覧できます。

不動産競売物件情報サイト(通称ヒット) <http://hit.sikkou.jp>

▽土地付居宅(買受可能価額は、売却基準価額の8割の価額になります。物件に関する電話照会には一切応じていませんので、ご了承ください。)

★庁舎工事のため、裁判所駐車場は利用できません。入札には、原本、

則、農業委員会又は県知事の買受適格証明書が必要で。

●物件の資料(通称3点セット)は、当裁判所及びインターネットで閲覧できます。

不動産競売物件情報サイト(通称ヒット) <http://hit.sikkou.jp>

物件

▽土地付旅館等(3802万円) 加賀市潮津町イ宅地 5110.72平方メートル

▽土地付居宅(1798万円) 金沢市窪4丁目宅

▽土地付居宅等(54万円) 河北内灘町向粟

▽土地付居宅(671万円) 白山市殿町 宅地 204.73平方メートル

▽土地付居宅(393万円) 河北内灘町千鳥台2丁目 宅地 156.81平方メートル

はタクシードライバー向上やツグで飾る県内外の誘引紹介され、開業前後に合わせて併しを企画を狙うこととした。

に市内で開かれた総会で決めた。
宣言は「私たちは、お客



新幹線へお

レットなどを作成する。「素直なよろこびをカタチに」をキャッチフレーズとした。

任期満了に伴う役員改選では、石田憲二理事長を再任した。新役員は次の各氏。

▽副理事長 浅田久太▽常務理事 村田進▽理事 石屋誠一、横川政喜、谷崎康織▽監事 谷内文雄▽顧問 中野成昭

自己診断

改善点を抽出

入を対象実施する教職員にチェック
各校で取りまと善点を抽出
14日の校長会で、不祥事防止の緊急の取りでも、感情的にならない

市民福祉委で市側は日中・夜間を通じた1高年齢の要介護者の在宅生活を支援する「24時間地域巡回型サービス」の事業所を6月1日に市内で初めて指定すると報告した。

初の24時間巡回介護

来月1日指定

対象事業所は毎月5丁目の「ふまろ」。市は地域密着型特別対応型訪問介護看護事業所。地域の訪問看護事業所と連携し、希望者も募集する。

防災計画の見直し案などを諮るとした。市消防局は7月7日に消防団連合検閲を行う。

健康食品送り付け高齢者の相談急増

市民福祉委

市民福祉委で市側は、近江町消費生活センターに昨年度寄せられた相談では、高齢者が申し込んでいない健康食品を代引きで送り付けられる被害が急増していると報告した。児童相談所に昨年度寄せられた児童虐待の相談は386件で、関係機関や市民に児童虐待に対する認識が広がったことで、開設した2006年度の約3倍に増えたと指摘した。

女性相談支援室では夫等の暴力に関する相談が前年比34.7%増の481件に上った。

中西利雄委員（金沢保守）は、市包括外部監査で指摘があった保育料の滞納について、悪質な滞納には厳正に対応するよう求めた。



市内の中学校で14日に2年男子生徒が上級生2人から暴力を受けたことについて、市教委は「毅然とした態度で指導し、再発防止を徹底する」とした。

市側は6月7日に市防災会議を開き、地域

永年勤続議員 9氏に表彰伝達
全国市議会議長会
永年勤続議員表彰伝達式は27日、市議会議長

室で行われ、特別表彰（在職30年）の木下和吉氏と一般表彰（在職10年）の8氏に表彰状が贈られた。写真。横越徹議長が表彰状を手渡し「今後も市民のために一生懸命活躍してほしい」とあいさつ。受賞者を代表して木下氏が「市政発展に尽くしたい」と述べた。一般表彰は次の各氏。

新村誠一、松村理治、黒沢和規、松井純一、宮崎雅人、清水邦彦、栗森徹、森一敏

綾戸智恵コンサート

“Forever Young”

前売りチケット
好評発売中!

ジャズ、ポップス、J-POP など幅広いレパートリーを巧みに取り入れた個性的なステージ! お笑い芸人顔負けの爆笑トークも魅力!!

日時 7月15日(祝・月) 開場 14時30分 開演 15時
会場 能美市根上総合文化会館 音楽ホール「タント」
(能美市大成町ヌ118番地)
料全



よし、能美市
Let's go to Nomi